

## 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事

訂正箇所	正誤区分	訂正区分																																																																																																								
金抜設計書 単価表 番号110		<p style="text-align: center;">单 価 表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目番号</th> <th>項 目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>109</td> <td>特 - ( 8 )</td> <td>地盤改良工 固化材A</td> <td>190</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>110</td> <td>特 - ( 8 )</td> <td>地盤改良工 固化材B</td> <td>443</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>111</td> <td>特 - ( 9 )</td> <td>薬液注入工 A (削孔)</td> <td>3,782</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>112</td> <td>特 - ( 9 )</td> <td>薬液注入工 A (一次注入)</td> <td>53.49</td> <td>KL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>113</td> <td>特 - ( 9 )</td> <td>薬液注入工 A (二次注入)</td> <td>319.91</td> <td>KL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>114</td> <td>特 - ( 9 )</td> <td>薬液注入工 B</td> <td>4.16</td> <td>KL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>115</td> <td>特 - ( 10 )</td> <td>埋戻し工 埋戻し A</td> <td>2,456</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>116</td> <td>特 - ( 10 )</td> <td>埋戻し工 埋戻し B</td> <td>1,122</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>117</td> <td>特 - ( 10 )</td> <td>埋戻し工 埋戻し C</td> <td>1,021</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>118</td> <td>特 - ( 11 )</td> <td>函体継手工 可とう継手 A</td> <td>30</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>119</td> <td>特 - ( 11 )</td> <td>函体継手工 カバーブレート A</td> <td>13</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>120</td> <td>特 - ( 11 )</td> <td>函体継手工 カバーブレート B</td> <td>13</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘要	109	特 - ( 8 )	地盤改良工 固化材A	190	m <sup>3</sup>				110	特 - ( 8 )	地盤改良工 固化材B	443	m <sup>3</sup>				111	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (削孔)	3,782	m				112	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (一次注入)	53.49	KL				113	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (二次注入)	319.91	KL				114	特 - ( 9 )	薬液注入工 B	4.16	KL				115	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し A	2,456	m <sup>3</sup>				116	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し B	1,122	m <sup>3</sup>				117	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し C	1,021	m <sup>3</sup>				118	特 - ( 11 )	函体継手工 可とう継手 A	30	m				119	特 - ( 11 )	函体継手工 カバーブレート A	13	m				120	特 - ( 11 )	函体継手工 カバーブレート B	13	m			
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘要																																																																																																			
109	特 - ( 8 )	地盤改良工 固化材A	190	m <sup>3</sup>																																																																																																						
110	特 - ( 8 )	地盤改良工 固化材B	443	m <sup>3</sup>																																																																																																						
111	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (削孔)	3,782	m																																																																																																						
112	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (一次注入)	53.49	KL																																																																																																						
113	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (二次注入)	319.91	KL																																																																																																						
114	特 - ( 9 )	薬液注入工 B	4.16	KL																																																																																																						
115	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し A	2,456	m <sup>3</sup>																																																																																																						
116	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し B	1,122	m <sup>3</sup>																																																																																																						
117	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し C	1,021	m <sup>3</sup>																																																																																																						
118	特 - ( 11 )	函体継手工 可とう継手 A	30	m																																																																																																						
119	特 - ( 11 )	函体継手工 カバーブレート A	13	m																																																																																																						
120	特 - ( 11 )	函体継手工 カバーブレート B	13	m																																																																																																						
		<p style="text-align: center;">单 価 表</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>項目番号</th> <th>項 目</th> <th>数量</th> <th>単位</th> <th>単 価</th> <th>金 額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>109</td> <td>特 - ( 8 )</td> <td>地盤改良工 固化材A</td> <td>190</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>110</td> <td>特 - ( 8 )</td> <td>地盤改良工 固化材B</td> <td>435</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>111</td> <td>特 - ( 9 )</td> <td>薬液注入工 A (削孔)</td> <td>3,782</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>112</td> <td>特 - ( 9 )</td> <td>薬液注入工 A (一次注入)</td> <td>53.49</td> <td>KL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>113</td> <td>特 - ( 9 )</td> <td>薬液注入工 A (二次注入)</td> <td>319.91</td> <td>KL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>114</td> <td>特 - ( 9 )</td> <td>薬液注入工 B</td> <td>4.16</td> <td>KL</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>115</td> <td>特 - ( 10 )</td> <td>埋戻し工 埋戻し A</td> <td>2,456</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>116</td> <td>特 - ( 10 )</td> <td>埋戻し工 埋戻し B</td> <td>1,122</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>117</td> <td>特 - ( 10 )</td> <td>埋戻し工 埋戻し C</td> <td>1,021</td> <td>m<sup>3</sup></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>118</td> <td>特 - ( 11 )</td> <td>函体継手工 可とう継手 A</td> <td>30</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>119</td> <td>特 - ( 11 )</td> <td>函体継手工 カバーブレート A</td> <td>13</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>120</td> <td>特 - ( 11 )</td> <td>函体継手工 カバーブレート B</td> <td>13</td> <td>m</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘要	109	特 - ( 8 )	地盤改良工 固化材A	190	m <sup>3</sup>				110	特 - ( 8 )	地盤改良工 固化材B	435	m <sup>3</sup>				111	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (削孔)	3,782	m				112	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (一次注入)	53.49	KL				113	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (二次注入)	319.91	KL				114	特 - ( 9 )	薬液注入工 B	4.16	KL				115	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し A	2,456	m <sup>3</sup>				116	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し B	1,122	m <sup>3</sup>				117	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し C	1,021	m <sup>3</sup>				118	特 - ( 11 )	函体継手工 可とう継手 A	30	m				119	特 - ( 11 )	函体継手工 カバーブレート A	13	m				120	特 - ( 11 )	函体継手工 カバーブレート B	13	m			
番号	項目番号	項 目	数量	単位	単 価	金 額	摘要																																																																																																			
109	特 - ( 8 )	地盤改良工 固化材A	190	m <sup>3</sup>																																																																																																						
110	特 - ( 8 )	地盤改良工 固化材B	435	m <sup>3</sup>																																																																																																						
111	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (削孔)	3,782	m																																																																																																						
112	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (一次注入)	53.49	KL																																																																																																						
113	特 - ( 9 )	薬液注入工 A (二次注入)	319.91	KL																																																																																																						
114	特 - ( 9 )	薬液注入工 B	4.16	KL																																																																																																						
115	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し A	2,456	m <sup>3</sup>																																																																																																						
116	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し B	1,122	m <sup>3</sup>																																																																																																						
117	特 - ( 10 )	埋戻し工 埋戻し C	1,021	m <sup>3</sup>																																																																																																						
118	特 - ( 11 )	函体継手工 可とう継手 A	30	m																																																																																																						
119	特 - ( 11 )	函体継手工 カバーブレート A	13	m																																																																																																						
120	特 - ( 11 )	函体継手工 カバーブレート B	13	m																																																																																																						

## 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事

訂正箇所	正誤区分	訂正区分																														
特記仕様書 P37		<p>高流動コンクリート <math>m^3</math> 高流動モルタル <math>m^3</math></p> <p>2 4 - 5 - 2 型わく工</p> <p>(1) 型わくの種別</p> <p>共通仕様書8-3-2に規定する型わくの単価項目の種別に下記を追加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>使用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C (A)</td> <td>発進立坑本体の躯体及び2連C BOXの躯体に使用するもの。 ※先防水箇所における地中連続壁芯材へのセバレータ取付用異形スタッド取付費用含む</td> </tr> <tr> <td>C (B)</td> <td>発進立坑の坑口仕上げ部に使用するもの。</td> </tr> <tr> <td>C (C)</td> <td>シールド内のポンプ室における側壁、隔壁、頂版部に使用するもの。</td> </tr> <tr> <td>C (D)</td> <td>発進立坑躯体側壁の逆巻き部の高流動コンクリート及び高流動モルタルの充填性を確認するために各投入口の中間部にアクリル樹脂製透明型枠を使用するもの。</td> </tr> <tr> <td>T (A)</td> <td>シールドトンネルの覆工部に使用するもの。（上半施工部） ※支保工含む</td> </tr> <tr> <td>T (B)</td> <td>シールドトンネル到達部のインパートに使用するもの。（下半施工部）</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	使用箇所	C (A)	発進立坑本体の躯体及び2連C BOXの躯体に使用するもの。 ※先防水箇所における地中連続壁芯材へのセバレータ取付用異形スタッド取付費用含む	C (B)	発進立坑の坑口仕上げ部に使用するもの。	C (C)	シールド内のポンプ室における側壁、隔壁、頂版部に使用するもの。	C (D)	発進立坑躯体側壁の逆巻き部の高流動コンクリート及び高流動モルタルの充填性を確認するために各投入口の中間部にアクリル樹脂製透明型枠を使用するもの。	T (A)	シールドトンネルの覆工部に使用するもの。（上半施工部） ※支保工含む	T (B)	シールドトンネル到達部のインパートに使用するもの。（下半施工部）																
単価表の項目	使用箇所																															
C (A)	発進立坑本体の躯体及び2連C BOXの躯体に使用するもの。 ※先防水箇所における地中連続壁芯材へのセバレータ取付用異形スタッド取付費用含む																															
C (B)	発進立坑の坑口仕上げ部に使用するもの。																															
C (C)	シールド内のポンプ室における側壁、隔壁、頂版部に使用するもの。																															
C (D)	発進立坑躯体側壁の逆巻き部の高流動コンクリート及び高流動モルタルの充填性を確認するために各投入口の中間部にアクリル樹脂製透明型枠を使用するもの。																															
T (A)	シールドトンネルの覆工部に使用するもの。（上半施工部） ※支保工含む																															
T (B)	シールドトンネル到達部のインパートに使用するもの。（下半施工部）																															
誤		<p>(2) 支 払</p> <p>共通仕様書8-3-6「支払」に下記を追加する。</p> <p>1) 型枠C (A) の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 <math>m^3</math>当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う型枠の製作、据付け、取外し、異形スタッドの地中連続壁芯材への取付、支保工等型枠C (A) の施工に要する材料、労力、機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものと除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 - (2) 型わく</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C (A)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>C (B)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>C (C)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>C (D)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>T (A)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>T (B)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">37</p> <p>高流動コンクリート <math>m^3</math> 高流動モルタル <math>m^3</math></p> <p>2 4 - 5 - 2 型わく工</p> <p>(1) 型わくの種別</p> <p>共通仕様書8-3-2に規定する型わくの単価項目の種別に下記を追加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>使用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C (A)</td> <td>発進立坑本体の躯体及び2連C BOXの躯体に使用するもの。 ※先防水箇所における地中連続壁芯材へのセバレータ取付用異形スタッド(L=300mm、径D22mm)取付費用含む</td> </tr> <tr> <td>C (B)</td> <td>発進立坑の坑口仕上げ部に使用するもの。</td> </tr> <tr> <td>C (C)</td> <td>シールド内のポンプ室における側壁、隔壁、頂版部に使用するもの。</td> </tr> <tr> <td>C (D)</td> <td>発進立坑躯体側壁の逆巻き部の高流動コンクリート及び高流動モルタルの充填性を確認するために各投入口の中間部にアクリル樹脂製透明型枠を使用するもの。</td> </tr> <tr> <td>T (A)</td> <td>シールドトンネルの覆工部に使用するもの。（上半施工部） ※支保工含む</td> </tr> <tr> <td>T (B)</td> <td>シールドトンネル到達部のインパートに使用するもの。（下半施工部）</td> </tr> </tbody> </table>	単価表の項目	検測の単位	8 - (2) 型わく		C (A)	$m^3$	C (B)	$m^3$	C (C)	$m^3$	C (D)	$m^3$	T (A)	$m^3$	T (B)	$m^3$	単価表の項目	使用箇所	C (A)	発進立坑本体の躯体及び2連C BOXの躯体に使用するもの。 ※先防水箇所における地中連続壁芯材へのセバレータ取付用異形スタッド(L=300mm、径D22mm)取付費用含む	C (B)	発進立坑の坑口仕上げ部に使用するもの。	C (C)	シールド内のポンプ室における側壁、隔壁、頂版部に使用するもの。	C (D)	発進立坑躯体側壁の逆巻き部の高流動コンクリート及び高流動モルタルの充填性を確認するために各投入口の中間部にアクリル樹脂製透明型枠を使用するもの。	T (A)	シールドトンネルの覆工部に使用するもの。（上半施工部） ※支保工含む	T (B)	シールドトンネル到達部のインパートに使用するもの。（下半施工部）
単価表の項目	検測の単位																															
8 - (2) 型わく																																
C (A)	$m^3$																															
C (B)	$m^3$																															
C (C)	$m^3$																															
C (D)	$m^3$																															
T (A)	$m^3$																															
T (B)	$m^3$																															
単価表の項目	使用箇所																															
C (A)	発進立坑本体の躯体及び2連C BOXの躯体に使用するもの。 ※先防水箇所における地中連続壁芯材へのセバレータ取付用異形スタッド(L=300mm、径D22mm)取付費用含む																															
C (B)	発進立坑の坑口仕上げ部に使用するもの。																															
C (C)	シールド内のポンプ室における側壁、隔壁、頂版部に使用するもの。																															
C (D)	発進立坑躯体側壁の逆巻き部の高流動コンクリート及び高流動モルタルの充填性を確認するために各投入口の中間部にアクリル樹脂製透明型枠を使用するもの。																															
T (A)	シールドトンネルの覆工部に使用するもの。（上半施工部） ※支保工含む																															
T (B)	シールドトンネル到達部のインパートに使用するもの。（下半施工部）																															
正		<p>(2) 支 払</p> <p>共通仕様書8-3-6「支払」に下記を追加する。</p> <p>1) 型枠C (A) の支払は、前項の規定に従って検測された数量に対し、1 <math>m^3</math>当たりの契約単価で行うものとする。この契約単価には、設計図書及び監督員の指示に従って行う型枠の製作、据付け、取外し、異形スタッドの地中連続壁芯材への取付、支保工等型枠C (A) の施工に要する材料、労力、機械器具等本工事を完成するために必要な費用で諸経費に含まれるものと除くすべての費用を含むものとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th> <th>検測の単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8 - (2) 型わく</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C (A)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>C (B)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>C (C)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>C (D)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>T (A)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> <tr> <td>T (B)</td> <td><math>m^3</math></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">37</p>	単価表の項目	検測の単位	8 - (2) 型わく		C (A)	$m^3$	C (B)	$m^3$	C (C)	$m^3$	C (D)	$m^3$	T (A)	$m^3$	T (B)	$m^3$														
単価表の項目	検測の単位																															
8 - (2) 型わく																																
C (A)	$m^3$																															
C (B)	$m^3$																															
C (C)	$m^3$																															
C (D)	$m^3$																															
T (A)	$m^3$																															
T (B)	$m^3$																															

## 東京外環自動車道 京葉ジャンクションBランプ工事

訂正箇所	正誤区分	訂正区分																							
特記仕様書 P39		<p>(2) 種 別</p> <p>共通仕様書12-15-3に規定する路盤排水工の単価項目の種別に下記を追加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>路盤排水工の施工箇所</th><th>区分内容</th><th>設計図書に示す記号</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央排水工C</td><td>インバート有り</td><td>1) シールドインバート部に設置し湧水処理を行うもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ150にポリエステル 引<del>短繊維不織布</del>t=0.6mm巻き。</td><td>Du-P φ 0.15</td></tr> <tr> <td>横断排水工D</td><td>インバート有り</td><td>1) 発進・到達部におけるシールド坑口円周方向に設置し湧水処理をおこなうもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ50にポリエステル 引<del>短繊維不織布</del>t=0.6mm巻き。</td><td>Du-P φ 0.05</td></tr> </tbody> </table>			単価表の項目	路盤排水工の施工箇所	区分内容	設計図書に示す記号	中央排水工C	インバート有り	1) シールドインバート部に設置し湧水処理を行うもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ150にポリエステル 引 <del>短繊維不織布</del> t=0.6mm巻き。	Du-P φ 0.15	横断排水工D	インバート有り	1) 発進・到達部におけるシールド坑口円周方向に設置し湧水処理をおこなうもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ50にポリエステル 引 <del>短繊維不織布</del> t=0.6mm巻き。	Du-P φ 0.05									
単価表の項目	路盤排水工の施工箇所	区分内容	設計図書に示す記号																						
中央排水工C	インバート有り	1) シールドインバート部に設置し湧水処理を行うもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ150にポリエステル 引 <del>短繊維不織布</del> t=0.6mm巻き。	Du-P φ 0.15																						
横断排水工D	インバート有り	1) 発進・到達部におけるシールド坑口円周方向に設置し湧水処理をおこなうもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ50にポリエステル 引 <del>短繊維不織布</del> t=0.6mm巻き。	Du-P φ 0.05																						
		<p>(3) 支 払</p> <p>共通仕様書12-15-5「支払」に下記を追加する。</p> <table> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12-(12) 路盤排水工</td><td>m</td></tr> <tr> <td>中央排水工C</td><td>m</td></tr> <tr> <td>横断排水工D</td><td>m</td></tr> </tbody> </table>			単価表の項目	検測の単位	12-(12) 路盤排水工	m	中央排水工C	m	横断排水工D	m													
単価表の項目	検測の単位																								
12-(12) 路盤排水工	m																								
中央排水工C	m																								
横断排水工D	m																								
	誤	<p>24-7 汚濁水処理工</p> <p>(1) 定 義</p> <p>共通仕様書12-19-1「定義」に下記を追加する。</p> <p>1) 汚濁水処理工の設備規模、原水状況、処理水基準は下記のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設備規模</td><td>30m<sup>3</sup>/h</td><td></td></tr> <tr> <td>原水 SS濃度</td><td>3,000ppm</td><td>想定値</td></tr> <tr> <td>原水 PH値</td><td>12</td><td>想定値</td></tr> <tr> <td>外観</td><td>異常な着色又は発泡が認められないこと</td><td></td></tr> <tr> <td>処理水基準 SS濃度</td><td>120ppm以下</td><td>・・・水域にかかる千葉県水質汚濁防止排出基準</td></tr> <tr> <td>処理水基準 PH値</td><td>5.8~8.6</td><td></td></tr> </tbody> </table>			項目	区分内容	備考	設備規模	30m <sup>3</sup> /h		原水 SS濃度	3,000ppm	想定値	原水 PH値	12	想定値	外観	異常な着色又は発泡が認められないこと		処理水基準 SS濃度	120ppm以下	・・・水域にかかる千葉県水質汚濁防止排出基準	処理水基準 PH値	5.8~8.6	
項目	区分内容	備考																							
設備規模	30m <sup>3</sup> /h																								
原水 SS濃度	3,000ppm	想定値																							
原水 PH値	12	想定値																							
外観	異常な着色又は発泡が認められないこと																								
処理水基準 SS濃度	120ppm以下	・・・水域にかかる千葉県水質汚濁防止排出基準																							
処理水基準 PH値	5.8~8.6																								
		<p>39</p>																							
		<p>(2) 種 別</p> <p>共通仕様書12-15-3に規定する路盤排水工の単価項目の種別に下記を追加する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>路盤排水工の施工箇所</th><th>区分内容</th><th>設計図書に示す記号</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中央排水工C</td><td>インバート有り</td><td>1) シールドインバート部に設置し湧水処理を行うもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ150にポリエステル 引<del>長繊維不織布</del>t=0.6mm巻き。</td><td>Du-P φ 0.15</td></tr> <tr> <td>横断排水工D</td><td>インバート有り</td><td>1) 発進・到達部におけるシールド坑口円周方向に設置し湧水処理をおこなうもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ50にポリエステル 引<del>長繊維不織布</del>t=0.6mm巻き。</td><td>Du-P φ 0.05</td></tr> </tbody> </table>			単価表の項目	路盤排水工の施工箇所	区分内容	設計図書に示す記号	中央排水工C	インバート有り	1) シールドインバート部に設置し湧水処理を行うもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ150にポリエステル 引 <del>長繊維不織布</del> t=0.6mm巻き。	Du-P φ 0.15	横断排水工D	インバート有り	1) 発進・到達部におけるシールド坑口円周方向に設置し湧水処理をおこなうもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ50にポリエステル 引 <del>長繊維不織布</del> t=0.6mm巻き。	Du-P φ 0.05									
単価表の項目	路盤排水工の施工箇所	区分内容	設計図書に示す記号																						
中央排水工C	インバート有り	1) シールドインバート部に設置し湧水処理を行うもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ150にポリエステル 引 <del>長繊維不織布</del> t=0.6mm巻き。	Du-P φ 0.15																						
横断排水工D	インバート有り	1) 発進・到達部におけるシールド坑口円周方向に設置し湧水処理をおこなうもの。 2) 高密度ポリエチレン管φ50にポリエステル 引 <del>長繊維不織布</del> t=0.6mm巻き。	Du-P φ 0.05																						
		<p>(3) 支 払</p> <p>共通仕様書12-15-5「支払」に下記を追加する。</p> <table> <thead> <tr> <th>単価表の項目</th><th>検測の単位</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12-(12) 路盤排水工</td><td>m</td></tr> <tr> <td>中央排水工C</td><td>m</td></tr> <tr> <td>横断排水工D</td><td>m</td></tr> </tbody> </table>			単価表の項目	検測の単位	12-(12) 路盤排水工	m	中央排水工C	m	横断排水工D	m													
単価表の項目	検測の単位																								
12-(12) 路盤排水工	m																								
中央排水工C	m																								
横断排水工D	m																								
	正	<p>24-7 汚濁水処理工</p> <p>(1) 定 義</p> <p>共通仕様書12-19-1「定義」に下記を追加する。</p> <p>1) 汚濁水処理工の設備規模、原水状況、処理水基準は下記のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th><th>区分内容</th><th>備考</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設備規模</td><td>30m<sup>3</sup>/h</td><td></td></tr> <tr> <td>原水 SS濃度</td><td>3,000ppm</td><td>想定値</td></tr> <tr> <td>原水 PH値</td><td>12</td><td>想定値</td></tr> <tr> <td>外観</td><td>異常な着色又は発泡が認められないこと</td><td></td></tr> <tr> <td>処理水基準 SS濃度</td><td>120ppm以下</td><td>・・・水域にかかる千葉県水質汚濁防止排出基準</td></tr> <tr> <td>処理水基準 PH値</td><td>5.8~8.6</td><td></td></tr> </tbody> </table>			項目	区分内容	備考	設備規模	30m <sup>3</sup> /h		原水 SS濃度	3,000ppm	想定値	原水 PH値	12	想定値	外観	異常な着色又は発泡が認められないこと		処理水基準 SS濃度	120ppm以下	・・・水域にかかる千葉県水質汚濁防止排出基準	処理水基準 PH値	5.8~8.6	
項目	区分内容	備考																							
設備規模	30m <sup>3</sup> /h																								
原水 SS濃度	3,000ppm	想定値																							
原水 PH値	12	想定値																							
外観	異常な着色又は発泡が認められないこと																								
処理水基準 SS濃度	120ppm以下	・・・水域にかかる千葉県水質汚濁防止排出基準																							
処理水基準 PH値	5.8~8.6																								
		<p>39</p>																							